

施策番号	I-1-1	施策の名称	6次産業化の促進 【既存】	主担当課・者	産業振興課	坂出 雅哉
総合計画	3-(1)-1-3 P64			関係課		
				関係課		
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

国、県、関係機関と連携し、技術支援や農産物生産者と食品産業事業者、販売事業者とのマッチング機会づくりやその連携による新商品の開発等を支援し、6次産業化を促進します。

【主な取り組み】

- ◆6次産業化に向けた特産品の開発・PR
- ◆新たな産業開発の推進など自立した取り組み、活動への支援

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

町内の農家がエゴマ油の販売を開始、農業者自身で直売のほか産直でも販売、町もふるさと納税の返礼品にラインナップして支援。次年度も取組み農家が増加する予定。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

農業従事者の高齢化や後継者不足が課題となっている。その中で、6次産業化が目指すところとして、農業者の所得向上があり、農産物等の生産コストの削減や農産物等の付加価値を高める取り組みが求められる。そのためにも、農業従事者や食料品加工・販売業者、研究機関等が連携し取り組みを進めることが重要である。エゴマの栽培についてはこの地域に合った栽培体系の構築および収穫までの天候(特に台風)が引き続き課題であり、エゴマ油の販売についても売り先の確保及びPRが必要である。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

農業従事者、食料品加工・販売業者、研究機関等と連携し、6次産業化に向けた現状把握・分析を行うとともに、商品開発や人材育成につなげる。

エゴマについては農家自身で栽培から販売までを本格的に行うことができた、しかしながら収量にばらつきがあり、経営所得安定対策の産地交付金や食料自給力向上対策補助金等により支援を行っていく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成30年度:6次産業化支援補助金(予算規模:補助金 0千円)

令和元年度:6次産業化支援補助金(予算規模:補助金1,000千円)

令和2年度:6次産業化支援補助金(予算規模:補助金2,000千円)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)	
	a	回	6次産業化に向けた審査会等の開催回数	a	件	6次産業化事例数(新規)	a	%	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)	
-	-	-	-	-	-	-	-	b	千円	町民平均所得額		
-	-	-	-	-	-	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合		
2各指標の推移・目標値	整理No.	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠			
中間KPI(ア)	a	回	-	2	2	1	0	延10	年間2回の開催			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
KPI(イ)	a	件	1	1	2	1	1	2	新規件数を1件増やす			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
数値目標(ウ)	a	%	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる			
	b	千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持			
	c	%	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる			

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	I-1-2	施策の名称	ICTを活用した農畜産業の活性化および新規就農の促進【新規】	主担当課・者	産業振興課	坂出 雅哉
総合計画	3-(1)-1-3			関係課		
				関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

既存農家や県やJA等と連携し、ICTの活用による農畜産業の省力化・効率化を図るとともに、新規就農に対するノウハウを享受することで農畜産物の生産力の向上および新規就農者の増加につなげます。

【主な取り組み】

- ◆ICTを活用した農畜産業振興に向けた検討
- ◆ICTを活用した農畜産業振興補助事業(モデル事業)
- ◆ICTを活用した農畜産業振興実践説明会

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

伊勢農協において「あぐりん」イチゴの研修施設が稼働、場所は伊勢市だが玉城町も利用できるよう調整を行った。イチゴの栽培で地域おこし協力隊を募集しふれあい農園で就農を開始した。
地域おこし協力隊(イチゴ) 実績 1名

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

農家やJA、県と連携し玉城町のイチゴ産地維持・発展につながる計画をつくる必要がある。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

地域おこし協力隊や新規就農希望者の研修、農地のマッチング等が行えるよう農協や県と協力し取り組みを行う。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成28年度:検討会の開催、実証事業の実施(予算規模:委託料473千円)

平成29年度:今後の検討

平成30年度:新規就農者の募集、あぐりん(イチゴ)の玉城町の利用に向けた調整

令和元年度:地域おこし協力隊の自立就農に向けた支援

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	検討会の開催回数	a	人	新規就農者数	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)
	b	-	-	b	-	-	b	千円	町民平均所得額
	c	-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	回	-	1	3	0	0	5	検討会の開催回数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	人	-	延べ1	延べ1	延べ2	延べ4	延べ2	新規就農者数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	%	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる
	b	千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持
	c	%	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる

(6)外部検証結果

事業の評価

施策 番号	I-1-3	施策の名称	農畜産物の高付加価値化とブランド力の強化 【新規】	主担当課・者	産業振興課	坂出 雅哉	
	総合 計画			3-(1)-1-3 P63	関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

玉城産豚をはじめ、かおり野(イチゴ)、次郎柿(柿)等の町内の多彩な農畜産物に対して、農家やJA、研究機関、企業等と連携し、農畜産物に関する先端技術を取り入れることで高付加価値化やブランド化、生産量の向上、農家所得の向上につなげます。また、それら取り組みや事業成果を他の農家や商品販売業者にPRしていきます。

【主な取り組み】

- ◆農畜産技術の向上やブランド化に向けた研究会の設置・運営
- ◆高品質化とブランド化に向けた新規事業計画の策定
- ◆農畜産物のPR 事業(郷土料理や新食文化の創出・イベント出店を含む)

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

地方創生加速化交付金を活用し玉城産豚の高付加価値化やブランド化事業で開発した熟成肉の定期販売およびPRの実施。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

高品質な農畜産物の生産をするための研究や技術の向上を進めると共にブランド化、高付加価値化を強化するための強みの分析やそれを生かしたPR、販売戦略が必要である。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

生産者、JA、行政、食品事業者等がブランド化・高付加価値化に向けて協力し、現状把握・分析を行い商品開発につなげていく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成28年度:高度技術を活用した玉城産豚の高付加価値化・ブランド化推進支援業務(予算規模:30,500千円)、環境保全対策検討のための視察研修

平成29年度:事業委託料(500千円) 環境保全対策についての検討

平成30年度:事業委託料(300千円)

令和元年度:未定(地方創生推進交付金?)

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)	
	a	パック	イチゴ出荷数	a	件	事業実施件数	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)			
b	回	玉城豚に関連する検討会開催回数	b	-	-	b	千円	町民平均所得額				
c	-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合				
2各指標の推移・目標値	整理No.	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠			
中間KPI(ア)	a	パック	-	800,733	794,836			823,296	27年度実績の2割増し			
	b	回	-	0	5	3	0	5	玉城豚に関連する検討会開催回数			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
KPI(イ)	a	件	-	1	2	1	1	2	件数を増やす			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
数値目標(ウ)	a	%	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる			
	b	千円	2,748	2,807	2,801	2,817		維持	現状維持			
	c	%	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる			

(6)外部検証結果

事業の評価

施策 番号	I-1-4	施策の名称	地域ブランドの認定制度の構築 【既存】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広	
	総合 計画			3-(1)-1-3	関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

優れた町内特産品等の地域ブランド認定により、本町の農畜産物の認知度や玉城町の知名度の向上を図るとともに、事業者間の連携によるブランド価値の向上を図る取り組みを促進するために、地域ブランドの認定制度の構築を行います。

【主な取り組み】

◆地域ブランド認定制度の構築(地域ブランドの定義・認定基準の設定・評価の仕組みづくり等)

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

地域ブランド確立に向けた取組として町内飲食店が玉城町の食材を使ったメニューを「たまきグルメ」として提供した。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

個々の品質向上の取組は行われているが、なかには店舗の閉鎖やメニューがなくなっているものがあり現状維持は困難である。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

引き続き玉城町の食材等をテーマを決めて地域ブランド化を進めていく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

三重県南部地域13市町やサニーロードを通じた連携事業等の広域事業でのPR。また、城、庁舎等での窓口展示。

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)	
	a		回	検討会の開催回数	a	件	地域ブランド認定数	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)		
b		-	-	b	-	-	b	千円	町民平均所得額			
c		-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合			
2各指標の推移・目標値		単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠			
中間KPI (ア)	a	回	-	0	0	0	0	1	検討会の開催回数			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
KPI (イ)	a	件	0	0	延べ3	延べ3	0	延べ5	地域ブランド資源認定数			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
数値目標 (ウ)	a	%	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる			
	b	千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持			
	c	%	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる			

(6)外部検証結果

事業の評価

施策 番号	I-1-5	施策の名称	広域連携した特産品のPR 【新規】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広	
	総合 計画			3-(1)-3-3	関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

三重県南部地域13市町やサニーロードを通じた連携事業を行っている3町(玉城町、度会町、南伊勢町)において、ふるさと納税に対する広域連携を図ります。納税者(寄付者)に対して、広域での受付・事務制度の導入や連携した特産品のPRを進めます。

【主な取り組み】

- ◆(仮称)広域連携ふるさと納税推進事務局の設置
- ◆広域連携による特産品のPR

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

三重県南部活性化基金を活用し南部13市町の広域連携でふるさと納税を通じた各市町の魅力、特産品等のPRを行った。サニーロードで繋がる3町(玉城町、度会町、南伊勢町)合同でイベント等に参加し誘客及び特産品等のPRを行った。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

町内間及び広域での事業所等民間の連携が必要である。
官民一体となったPR等できる気運の醸成、環境整備。
各市町間での温度差 認識の深さが異なる。
三重県と市町の役割の明確化。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

玉城町単独では限界があり伊勢志摩等広域でのPR等が必要。行政間の温度差、格差の解消が必要。
広域連携の強みを最大限に活かし、三重県南部地域への誘客、そこから玉城町への誘客、認知度アップを図る
ふるさと納税の金額、件数は減少にあるものの玉城の特産品のリピーターは増えているため、リピーターと併せ新規寄付者を獲得し、特産品

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

- ・ふるさと納税特産品の調整、発送手続き関係業務。(H30年度末現在 5,554件、95,523,569円)
- ・三重テラスにてふるさと納税寄付者を対象に玉城町の魅力をPR。
- ・サニーロード誘客促進事業(度会町、南伊勢町、玉城町で同実行委員会設置) サニー市の開催等。
- ・伊勢から熊野を結ぶバイク旅促進事業(玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町・紀北町・熊野市・御浜町・紀宝町で同実行委員会設置)。

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	件	PR実施件数	a	件	ふるさと応援寄付金件数	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)
	b	-	-	b	-	-	b	千円	町民平均所得額
	c	-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	件	-	10	10	10	10	10	PR実施件数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	件	10,704	9,102	7,782	5,114	5,563	10,704	ふるさと応援寄付金件数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	%	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる
	b	千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持
	c	%	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる

(6)外部検証結果

事業の評価

--

施策番号	I-2-1	施策の名称	玉城町の地域資源を活用した起業促進 および町外からの起業家誘致 【新規】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広	
	総合計画			3-(1)-2-3	関係課		
					関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

首都圏や中部・関西地域の都市部に在住している起業希望者に対して、ビジネス創出に対する支援を行います。また、起業希望者と起業支援に関する機関(金融機関、ベンチャー支援企業等)とのマッチングを行います。

【主な取り組み】

- ◆起業支援策の導入・実施
- ◆起業に向けたマッチング機会の創出
- ◆企業、起業者の情報・魅力発信

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

創業支援セミナーを5回開催し、8名(延べ29名)の参加があった。
伊勢志摩地域産業活性化協議会において、三重県外資系企業誘致セミナーに参加。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

創業者に対する支援策の拡充が課題である。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

令和元年度も創業支援セミナーを開催。
引き続き伊勢志摩産業地域活性化協議会にて企業誘致等の取組を行う。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

創業支援事業の実施 商工会による創業支援セミナーの開催 5回 15人参加。

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)	
	a	回	セミナー等開催回数	a	件	新規起業数(起業家の誘致含む)	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)			
b	-	-	b	-	-	b	千円	町民平均所得額				
c	-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合				
2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠				
中間KPI(ア)	a 回	-	0	1	1	5	1	セミナー等開催回数				
	b -	-	-	-	-	-	-	-				
	c -	-	-	-	-	-	-	-				
KPI(イ)	a 件	-	0	0	1	4	1	新規起業数(起業家の誘致含む)				
	b -	-	-	-	-	-	-	-				
	c -	-	-	-	-	-	-	-				
数値目標(ウ)	a %	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる				
	b 千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持				
	c %	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる				

(6)外部検証結果

事業の評価

施策番号	I-2-2	施策の名称	近隣市町と連携した企業・事業所内新入社員ビジネス研修および経営者課題解決支援【新規】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広	
	総合計画			3-(2)-1-1	関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

近隣市町と連携し、首都圏で開催されている最新のビジネスセミナーを玉城町において通年で開催し、近隣市町の企業・事業所の活性化につなげます。なお、研修プログラムは若手社員や経営層等のターゲットを絞ったセミナーを開催し、若者の離職率の減少や企業・事業所収益の向上につなげます。

【主な取り組み】

◆新入社員研修および経営課題解決等のビジネスセミナーの開催

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成28年度に策定した「玉城町創業支援計画」を基に商工会と連携し、創業支援セミナーを開催した。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

創業支援策等の認知度がまだ低く、更なる周知が必要である。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

国の施策と併せ町内の事業所へ制度の周知を行い商工会と連携し進める。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

創業支援事業の実施 商工会による創業支援セミナーにおいて実施。

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	セミナー開催数	a	回	セミナー開催数	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)
b	-	-	b	-	-	b	千円	町民平均所得額	
c	-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合	
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	回	-	0	0	5	5	1	セミナー開催数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	回	-	0	0	5	5	1	セミナー開催数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	%	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる
	b	千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持
	c	%	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる

(6)外部検証結果

事業の評価

施策番号	I-2-3	施策の名称	優良企業の立地促進と起業支援による 新規雇用の創出 【既存】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広	
	総合計画			3-(1)-2-3	関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
積極的な企業誘致(誘置)活動を展開するとともに、町内企業の拡張支援、起業支援を行い、新たな雇用の創出を図ります。
【主な取り組み】
◆町内企業との交流・意見交換の実施
◆起業支援策の導入・実施

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

伊勢志摩地域産業活性化協議会において、三重県外資系企業誘致セミナーに参加した。
創業支援セミナー5回を開催し、8名(延べ29名)の参加があった。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

創業者に対する支援策の拡充が課題である。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

令和元年度も創業支援セミナーを開催。
引き続き伊勢志摩地域産業活性化協議会にて企業誘致等の取組を行う。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
・町内への企業進出の動きはあるが現積良区有地でもあり、進出希望者、区(地権者)、町との3者協議にとどまる。

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)	
	a	回	セミナー等開催回数	a	件	新規起業数(起業家の誘致含む)	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)			
b	-	-	b	-	-	b	千円	町民平均所得額				
c	-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合				
2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠				
中間KPI(ア)	a 回	-	0	1	5	5	1	セミナー等開催回数				
	b -	-	-	-	-	-	-	-				
	c -	-	-	-	-	-	-	-				
KPI(イ)	a 件	-	1	1	1	4	1	新規起業数(起業家の誘致含む)				
	b -	-	-	-	-	-	-	-				
	c -	-	-	-	-	-	-	-				
数値目標(ウ)	a %	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる				
	b 千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持				
	c %	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる				

(6)外部検証結果

事業の評価

施策 番号	I-2-4	施策の名称	農商工連携の支援 【既存】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広	
	総合 計画			3-(1)-2-1	関係課		
					関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

商工会、玉城平成工業会、農業関係団体等との意見や情報交換に努めるとともに、町内外に町の産業を発信するため、農商工が連携したイベント等の開催を支援します。

【主な取り組み】

- ◆商工会、玉城平成工業会、農業関係団体等との意見や情報交換
- ◆町内外に町の産業を発信するための事業等の支援

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

11月に玉城ええやんまつりと称し農・商・エー体の総合イベントを開催 約5,000人の来場者があった。
桜まつり

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

事業所等の参画意識がまだ低く、受け身であるため、自分たちで機運を盛り上げようとする積極性が求められる。
機運があがれば、自主的な運営組織の設立、支援が実現可能となる。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

農・商・エー体となり玉城町の魅力として発信および発展を目指していく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

玉城ええやんまつり2018開催(物産市、サニー市、産業フェア 11/18)。

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)	
	a	回	意見交換会等の開催回数	a	件	農商工の連携事業数	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)			
b	-	-	b	-	-	b	千円	町民平均所得額				
c	-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合				
2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠				
中間KPI(ア)	a 回	-	4	4	4	4	6	意見交換会等の開催回数				
	b -	-	-	-	-	-	-	-				
	c -	-	-	-	-	-	-	-				
KPI(イ)	a 件	4	4	4	4	4	6	農商工の連携事業数				
	b -	-	-	-	-	-	-	-				
	c -	-	-	-	-	-	-	-				
数値目標(ウ)	a %	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる				
	b 千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持				
	c %	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる				

(6)外部検証結果

事業の評価

施策番号	I-2-5	施策の名称	商工会の指導力向上への支援、商工会との連携強化【既存】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広	
	総合計画			3-(1)-2-2	関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

商工会等が取り組む経営改善普及事業を支援するとともに、意欲のある中小企業等に対し、その課題に応じた指導を適切にできるよう、商工会等の指導力の向上を支援します。また、常に産業振興に係る課題等を把握し、迅速かつ有効な対応を検討するために、商工会との積極的な意見交換、情報共有を図ります。

【主な取り組み】

- ◆商工会との定期的な情報交換、交流会等の実施
- ◆商工会における経営改善普及事業への支援
- ◆地域の活性化促進の事業支援

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

経営改善普及事業における事業費や人件費に対して補助を行っている。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

中小・小規模事業所における売上の減少、担い手の不足、経営層の高齢化。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

経営改善普及事業に継続して補助を行っていく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
商工会との連携・支援 (9,740千円)

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	商工会との定期的な情報交換の実施回数	a	件	経営指導員等の相談件数	a	%	就業率(就業者/15歳以上人口)
b	-	-	b	回	商工会との定期的な情報交換の実施回数	b	千円	町民平均所得額	
c	-	-	c	-	-	c	%	玉城町を働く場として魅力的だと思う割合	

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a 回	-	1	1	1	2	2	商工会との定期的な情報交換の実施回数
	b -	-	-	-	-	-	-	-
	c -	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a 件	1,073	864	1,119	1,698	1,567	1,300	経営指導員等の相談件数
	b 回	1	1	1	1	2	2	商工会との定期的な情報交換の実施回数
	c -	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a %	60.6	59.8	-	-	-	65.0	数値を向上させる
	b 千円	2,748	2,807	2,801	2,817	-	維持	現状維持
	c %	38.8	-	-	-	-	50.0	数値を向上させる

(6)外部検証結果

事業の評価

施策 番号	II-1-1	施策の名称	民間交通とタイアップした 公共交通の充実 【充実】	主担当課・者	保健福祉課	藤川・西野
				関係課	総務政策課	
				関係課		
				関係課		
総合 計画	4-(3)-3-2P99-100					

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
元気バスのバス停の追加等の見直しを行い、利便性の向上を行い利用者の増加をめざします。また、交通安全の観点から運転に不安を感じている高齢者の運転免許の自主返納を促します。さらに、民間バスと連携した公共交通体系の構築に努め、地域内外の利便性の向上に努めます。元気バスの形態を活かした新たな利用者のニーズの把握に努めるとともに、元気バスのさらなる活用に向けた運行形態の検討を行い、地域公共交通としての利便性を向上させます。

【主な取り組み】

- ◆元気バスの運行
- ◆運転免許自主返納の推進
- ◆「元気バス」と連携した公共交通体系の構築(民間バスと連携した町外への乗り継ぎ)

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

- ・地元区長等の要望を受けて、バス停の追加及び変更を行い、利便性の向上を図った。
- ・元気バス利用者に高齢者等運転免許自主返納制度を周知し、事業推進を図った。(利用者8名)
- ・ふるさと納税をしていただいた町外の寄付者に対し、1年間元気バスを無料で利用できる仕組みを構築した(8名(県外)の登録があり、うち1名が利用)。また、町外の寄付者がたくさん訪町してくれるよう、町内の観光名所を新たにバス停に登録し(202箇所)、利用促進を図った。
- ・「元気バス」と連携した公共交通体系の構築は既になされている。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

- ・バス停の追加等を行い利便性の向上に日々努めているが、利用者数があまり増えない。
- ・高齢者の移動手段の1つとして元気バスの利用促進について地域ケア会議で検討を行った。元気バスの利用についての登録の方法や利用方法について

広報たまき3月号にチラシを挟み込み、ケーブルテレビの知っとく納得で周知啓発をおこなった。チラシの挟み込みを行うまでは新規登録者数が月平均10件程度であったが、チラシを配布後は3月の新規登録者数が34件でそのうち広報をみての登録が25名あった。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

- ・広報紙やケーブルテレビを活用して、元気バスの周知を行い、利用促進につなげる。
- ・利用者ニーズを把握するため、アンケートを実施し、事業の見直しを図る。
- ・次年度は、元気ですたまきまつりで元気バスについてのアンケートを行い、機会をみて周知啓発を行っていく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

- ・元気バス・デマンドバス運行事業 20,958千円
- ・高齢者等交通安全対策事業 100千円

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	人	元気バス登録時免許返納志望者	a	人	元気バスの年間利用者数	a	人	転入超過数(転入者-転出者)
	b	人	免許返納喫茶白ゆり利用者(実人数)	b	-	-	b	%	玉城町に住み続けたいと思っている割合
	c	-	-	c	-	-	c	-	-
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	人	-	-	7	8	8	75	元気バス登録時免許返納志望者
	b	人	-	-	0	3	7	30	免許返納喫茶白ゆり利用者(実人数)
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	人	26,487	25,677	25,519	25,479	24,165	28,500	元気バスの年間利用者数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	人	403	-	345	-	-	146	転入超過数の減少を抑制
	b	%	55.6	-	-	-	-	67.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6)外部検証結果

事業の評価

--

施策番号	II-1-2	施策の名称	近隣市町と連携しJR東海への要望の継続 【既存】	主担当課・者	総務政策課	永井 友樹	
	総合計画			4-(3)-3-1	関係課		
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

鉄道の利便性向上に向けて、三重県および関係市町と連携して、鉄道事業者等に働きかけるとともに、一層の利用促進に努めます。

【主な取り組み】

- ◆関係市町と連携して県への鉄道の利便性に対する要望(JR参宮線の複線電化の早期着手、快速みえ等の運行回数の増加等)

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成30年度はJRIに対して以下の要望を行った。

- ・快速みえ号の田丸駅の昼間停車及び増便
- ・田丸駅南(裏)側の改札口
- ・通勤通学に配慮したダイヤ改正

また、田丸駅バリアフリー化について協議を行った

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

- ・参宮線部会をはじめ、町単独でも継続した要望活動を行い、実現に向けていく必要がある。
- ・田丸駅の老朽化ともなう安全対策が懸念事項である。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

- ・玄甲舎や田丸城址などの歴史文化遺産を活用し、田丸駅も巻き込んだ地域活性化を進めることで乗車人数の増加を図る。
- ・駅舎の保存・活用を含めた協議を継続して行っていく必要がある(財源の確保も併せて検討)。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

- 平成29年度:-
- 平成30年度:-
- 令和元年度:-

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		数値目標(ウ)	
	a	回	JR東海への要望	a	人	田丸駅の乗降者人数	a	人
	b	-	-	b	-	-	b	%
	c	-	-	c	-	-	c	-

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠	
中間KPI(ア)	a	回	-	1	1	1	1	JR東海への要望	
	b	-	-	-	-	-	-	-	
	c	-	-	-	-	-	-	-	
KPI(イ)	a	人	193,193	191,635	201,161	206,280	200,973	200,000	田丸駅の乗降者人数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	人	403	-	345	-	-	146	転入超過数の減少を抑制
	b	%	55.6	-	-	-	-	67.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	転入超過数の減少を抑制

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	Ⅱ-2-1	施策の名称	良好な生活空間や自然・歴史的景観の形成 【既存】	主担当課・者	教育委員会	平生公一
総合計画	4-(1)-3-4			関係課		
				関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
個性豊かで魅力あるまちなみを保つため、景観の整備・保全に努めます。また、本町の特徴である自然環境や田園環境の保全・活用を図るとともに、眺望ポイントからの魅力的な景観や沿道景観等を維持できるよう、開発および建築への指導を強化します。
歴史的資源や歴史的まちなみが残る地域においては、歴史的資源等の修景を行うなど、歴史的景観の保全・修景を図ります。

【主な取り組み】
◆良好な景観の保全
◆歴史的まちなみの保全

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

建物の改修を終えた町指定文化財「玄甲舎」は、金森邸居宅の撤去とともに庭園を整備し、一刻も早い文化財の利活用を目指します。
県指定史跡田丸城跡は、平成29年度に被災した法面や土塁の復旧を完了し、今後は崩落した石垣の修復に着手します。
田丸城跡を国指定に向け動き出します。文化財価値の向上のため根拠資料の収集および、景観の保全・修景に取り組む等本気度を高めたPRIに努めます。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

「玄甲舎」の見学や各種イベント開催等、施設を利活用していくうえで適正な使用料および空調代の設定する。
田丸城跡において過去の調査成果が滞っているため、整理が必要。根拠資料としてまとめる。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

「玄甲舎」が未永く活用されるよう、庭園および外構の整備については、地域づくり推進室と協議のうえ方向性、品質を共有し進める。
田丸城跡の国指定については、県から国へ具申することになるため、目指す姿や指定の範囲等、田丸城跡整備検討委員会および三重県と協議を重ねる。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
令和元年度

	委託料	工事費	資料収集	維持管理
玄甲舎	4,323	50,644		
田丸城跡	9,172	19,800	2,787	1,080

※玄甲舎は2年度以降減額へ転じる。田丸城跡は石垣修復が本格化することで30,000～50,000千円/年で推移

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	件	歴史・文化施設等の整備件数	a	%	「計画的にまちなみや景観が整備されていること」の満足度	a	人	転入超過数(転入者－転出者)
	b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町に住み続けたいと思っている割合
	c	-	-	c	-	-	c	-	-

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	件	-	1	1	1	2	歴史・文化施設等の整備件数
	b	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	%	23	-	-	-	30	「計画的にまちなみや景観が整備されていること」の満足度
	b	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	人	403	-	345	-	146	転入超過数の減少を抑制
	b	%	55.6	-	-	-	67.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-

(6)外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅱ-2-2	施策の名称	地域との連携による防犯活動の促進 【既存】	主担当課・者	税務住民課	辻井 三嗣	
	総合 計画			2-(3)-3	関係課	教育委員会	
					関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
住民・関係機関・団体等と連携し、公共施設・スーパー、通学路および人の集まる場所での見守り活動や各種パトロール活動を促進します。
【主な取り組み】
◆青色回転灯車による防犯パトロール
◆子ども安全パトロール
◆住民等による自主的な防犯活動への支援

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

3人を1グループとし11班体制で延べ44回の巡回を実施した。(1グループ当り年4回)その他、警察協助力員による巡回を延べ15回実施した。年間を通して、児童生徒のテスト期間前後や長期休暇の前後、祭りや式典などの催し日を中心に巡回を実施し、子供たちの安全や住民等への防犯意識を高めることを目的に実施している。
成果としては、昨年比で窃盗総数、乗用車盗数、非侵入窃盗がいずれも減少し、それに伴い刑法犯総数も20件減少(延べ63件)した。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

生活安全推進協議会委員の委嘱(PTA役員を選出が5月末となるため)が毎年遅れるため、4月5月は活動が出来ない。このため、4月5月は警察協助力員のみで巡回を実施している。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

生活安全推進協議会のメンバーに保育所の保護者、安全パトロール員、保健福祉課職員など新たに加えて、町内の防犯対策、安全見守り体制を強化する。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
平成30年度 委員報酬215千円・費用弁償266千円
令和元年度 委員報酬215千円・費用弁償266千円
令和2年度 委員報酬215千円・費用弁償266千円
令和3年度 委員報酬215千円・費用弁償266千円

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	啓発活動回数	a	件	刑法犯認知件数	a	人	転入超過数(転入者-転出者)
b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町に住み続けたいと思っている割合	
c	-	-	c	-	-	c	-	-	

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a 回	-	9	12	44	61	12	啓発活動回数
	b -	-	-	-	-	-	-	-
	c -	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a 件	125	89	89	83	63	110	刑法犯認知件数
	b -	-	-	-	-	-	-	-
	c -	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a 人	403	-	345	-	-	146	転入超過数の減少を抑制
	b %	55.6	-	-	-	-	67.0	数値を向上させる
	c -	-	-	-	-	-	-	-

(6)外部検証結果

事業の評価

施策番号	Ⅱ-2-3	施策の名称	「玉城町地域防災計画」に基づく 防災活動の推進 【充実】	主担当課・者	総務政策課	山口 成人
総合計画	2-(3)-1 P59~			関係課		
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

平成27年度に策定した「玉城町地域防災計画」に基づき、住民の防災意識の向上や自主防災組織と連携した地域防災体制の充実を図り、災害に強いまちづくりや災害予防が進んだまちづくりをめざします。

【主な取り組み】

- ◆防災意識の高揚に向けた啓発
- ◆防災設備の充実
- ◆災害予防の推進

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

防災技術指導員を雇用し、自治区等防災講話を実施し、個人及び地域の防災意識の高揚が図られたと考える。また、前年度の量水標に加え、平成30年度に河川監視カメラ3台及び危機管理型水位計1基を設置した。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

新たに1地区(南新町)の自主防災組織が結成され、合計8組織となったが、同様の取組を実施している自治区もあり、引き続き組織化に取り組むとともに、結成済み組織強化を図る必要がある。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

引き続き防災講話等により、自助・共助に対する意識高揚を図り自主防災組織の結成に向けて取り組む。また、校区別避難訓練を実施し、住民による避難所運営を目指す。
浸水対策としても、危機管理型水位計の増設を計画する。
また、南海トラフ地震ガイドラインを踏まえた地域防災計画の改定を行うとともに、受援計画等の策定を行う。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
平成30年度:4,736千円
令和元年度:9,852千円

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)	
	a	回	自治区防災研修等 開催回数(消火訓練 等含む)	a	団体	自主防災組織数	a	人	転入超過数(転入者- 転出者)			
	b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町に住み続けたいと 思っている割合			
	c	-	-	c	-	-	c	-	-			
2各指標の推移・目標値		単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠			
中間KPI (ア)	a	回	-	40	60	60	35	50	消火・救命救急訓練、防災講習会開催回数			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
KPI (イ)	a	団体	5	6	6	7	8	10	自主防災組織数			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
数値目標 (ウ)	a	人	403	-	345	-	-	146	転入超過数の減少を抑制			
	b	%	55.6	-	-	-	-	67.0	数値を向上させる			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	Ⅱ-2-4	施策の名称	Uターン者を対象にした奨学金返済補助制度の検討・導入【新規】	主担当課・者	産業振興課	西野 公啓	
	総合計画			3-(2)-1-2	関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

奨学金を受給している玉城町出身の首都圏等在住予定者に対して、Uターンをした場合に奨学金返済の補助を行うことで、若者の転入増加を図ります。なお、対象者は日本学生支援機構等の国の奨学金制度を利用し、首都圏の大学等へ進学する高等学校卒業生に対して実施します。

また、制度利用者に対して、Uターン意向を高められる機会・場づくりに努めます。

【主な取り組み】

◆Uターン応援奨学金返済補助制度の検討および導入

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成30年度当町単独事業は実績なし。(三重県で実施している「三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還事業」について実施内容、活用状況について聴き取りを行った。)

現状は、県全体でH28 16人、H29 14人、H30 13人の認定学生がいる。制度開始から助成初年度はH33年度となり、まだ助成には至っていないが、町内出身の学生は、H28が1名、H29が3名、H30が1名の利用者がある。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

高卒後の進学者のうち8割は県外流出組となる。県の現行制度は一定の評価がある中で要件の見直しも必要で、定住を図るための施策(住居・就業先など)を合わせて行うことが必要。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

県の制度は令和元年度までとなるが、振り返りでは一定の成果は出ているとして、国の給付型奨学金とあわせ継続を検討させたい。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

三重県で実施している「三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還事業」

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	検討会の開催回数	a	人	Uターン応援奨学金返済補助制度利用者数	a	人	転入超過数(転入者-転出者)		
b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町に住み続けたいと思っている割合			
c	-	-	c	-	-	c	-	-			
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠		
中間KPI(ア)	a	回	-	0	2	1	1	未定	検討会の開催回数		
	b	-	-	-	-	-	-	-	-		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
KPI(イ)	a	人	-	0	1	3	1	5	Uターン応援奨学金返済補助制度利用者数		
	b	-	-	-	-	-	-	-	-		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
数値目標(ウ)	a	人	403	-	345	-	-	146	転入超過数の減少を抑制		
	b	%	55.6	-	-	-	-	67.0	数値を向上させる		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		

(6)外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅱ-2-5	施策の名称	玉城町の魅力プロモーション 【新規】	主担当課・者	総務政策課	
	総合 計画			3-(1)-3-5	関係課	産業振興課
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

まちの魅力を集約した魅力情報ツールの作成や、大学や住宅関連業者等への情報発信を行います。また、町職員に対して、効果的・戦略的な地域情報の発信やプレスリリースの仕方について研修を行い、町職員全員がプロモーターとして活動できるようにします。なお、これら取り組みについては、地域おこし協力隊制度等を利用し、専門的なノウハウをもつ人材の確保・活用により進めます。

【主な取り組み】

- ◆まちの魅力プロモーションにおける地域おこし協力隊の受入および活用
(地域おこし協力隊による活動イメージ)
- ◇プロモーション営業活動
- ◇魅力情報ツール・商品の作成
- ◇町職員へのプロモーター研修の実施
- ◇メディアプロモーションの推進

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成30年度は産業振興課において、イチゴ分野にて1名協力隊を採用(H31.2月から)し、SNS等で日々の活動や町の魅力をPRしている。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

町の求める人材と応募者のマッチングが大切である。また、受入れ体制の充実を図る必要がある。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

- ・令和元年度も引き続き協力隊の募集を行う。募集時期と応募者のタイミングでマッチングが左右されるため粘り強く募集を行っていく。
- ・PR・ブランディング事業に関しては地方創生推進交付金事業で玄甲舎の利活用を含めた町のプロモーションを実施していく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成29年度:協力隊 2,242千円(実績)

平成30年度:協力隊 1,425千円(実績)

令和元年度:協力隊 6,280千円(当初)、地方創生推進交付金(PR・ブランディング事業) 11,880千円

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	人	地域おこし協力隊採用者	a	事業	地域おこし協力隊が開発したプロモーション事業数	a	人	転入超過数(転入者-転出者)		
b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町に住み続けたいと思っている割合			
c	-	-	c	-	-	c	-	-			

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a 人	-	0	0	1	1	3	地域おこし協力隊採用者
	b -	-	-	-	-	-	-	-
	c -	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a 事業	-	0	0	0	0	延べ5	地域おこし協力隊が開発したプロモーション事業数
	b -	-	-	-	-	-	-	-
	c -	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a 人	403	-	345	-	-	146	転入超過数の減少を抑制
	b %	55.6	-	-	-	-	67.0	数値を向上させる
	c -	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅱ-3-1	施策の名称	郷土愛の醸成(郷土愛醸成プログラム・ キャリア形成プログラムの実施) 【充実】	主担当課・者	教育委員会	中西 豊	
	総合 計画			1-(2)-2-2	関係課		
					関係課		
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

玉城町への郷土愛を玉城町内の小・中学校の児童・生徒に育ませるため、玉城町をよく知る地域の住民の方々に講師役・推進役を担っていただき、玉城町の自然・歴史・産業等を学ばせるとともに、地域資源の活用方策や課題の共有を図り、玉城町への理解を深めます。また、キャリア教育においても、地域の企業、事務所等に依頼し、職場体験を充実させ必要なスキルの育成に努めます。

【主な取り組み】

◆郷土愛醸成プログラム・キャリア形成プログラムの実施

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

- ・地域の方の協力による講話や田畑における農業体験により、玉城町の自然・歴史・産業等の学習を継続実施(各小学校)。
- ・小学校からの要請により、遠足時における城山の来歴説明や、学校へ出向いての歴史講話を実施。
- ・中学校においては、地域の企業や事業所等の職場体験を通じて、職業についての基礎的な知識と技能、勤労の必要性を学ぶことで、将来の進路を選択する能力を醸成(中2)。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

歴史文化遺産の活用方法。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

継続実施。

石垣・玄甲舎等の歴史文化遺産を整備し、その魅力を授業を通じて伝えることで郷土愛を醸成。玉城町の歴史的偉人の業績を児童・生徒に伝え、更なる郷土愛の醸成を図る。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

- 平成28年度:経費無し
- 平成29年度:経費無し
- 平成30年度:経費無し
- 令和元年度:経費無し

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	玉城の歴史を伝える授業実施回数	a	%	将来玉城町に住みたいと思う割合(中学生)	a	人	転入超過数(転入者-転出者)		
b	回	キャリア形成プログラムの実施回数	b	-	-	b	%	玉城町に住み続けたいと思っている割合			
c	-	-	c	-	-	c	-	-			

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	回	-	0	0	1	1	玉城の歴史を伝える授業実施回数
	b	回	-	1	1	1	1	キャリア形成プログラムの実施回数
	c	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	%	57.6	-	-	-	70	将来玉城町に住みたいと思う割合(中学生)
	b	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	人	403	-	345	-	146	転入超過数の減少を抑制
	b	%	55.6	-	-	-	67.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅱ-3-2	施策の名称	保・小・中をつながりある育ちと学びの深 化・共有 【新規】	主担当課・者	保健福祉課	上村 亜由子	
	総合 計画			1-(2)-2-1	関係課	教育委員会	
					関係課		
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

ICTを活用した学習教材を活用するとともに、各保育所、小・中学校同士における学習内容を共有し、つながりのある育ちと学びを充実させます。また、町内の保育所と小・中学校が連携し、子どもの学びの連続性と一貫性を保証するための連携プログラムや地域資源を活用した学習プログラムの開発、発達や学びの課題や方向性を共有できる機会づくりに努めます。さらに、保育所園児、小学校児童、中学校生徒を対象としたライフステージに応じた地域学習(玉城町の地域資源等について学ぶ機会)や郷土愛の醸成に向けて、副読本の見直し・作成や新たな地域学習等の提供に努めます。

【主な取り組み】

- ◆ICTを活用した学習の充実と共有(デジタル教科書を活用した授業等)
- ◆保育所・小学校連携に向けた連携プログラムの作成
- ◆小学校・中学校連携に向けた教育課程の作成
- ◆副読本の見直し・作成や地域学習内容の検討

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

「CLMと個別の指導計画」を毎年全園で実施している。平成30年度から、三重県子ども心身発達医療センター受診のお子さんについても病院の方から計画作成の依頼が来るようになった。少しずつではあるが、保育の中で活用できてきている。初級のワークショップ(研修)についてはほとんどの町の保育士に受けてもらえてきており、令和元年度も9名の保育士が研修会に参加。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

「CLMと個別の指導計画」を毎年全園で実施おり、初級のワークショップについてはほとんどの保育士さんに受けてもらってきているが、まだまだ活用しているところまでには至っていない。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

・「CLMと個別の指導計画」を年長児を中心に今後も全園で実施していき、子ども心身発達医療センター受診ケースについても保育所と連携し進めていく。
・保育所の統括主任と、スキルアップ研修に参加し、「CLMと個別の指導計画」が保育所でより活用されるようにしていく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

保育所の統括主任と、スキルアップ研修に参加し、「CLMと個別の指導計画」が保育所でより活用されるようにしていく。

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a		箇所	「CLM」と個別の指導計画の実施保育所数		a	%	将来玉城町に住みたいと思う割合(中学生)		a	人
b		-	-		b	-	-		b	%	玉城町に住み続けたいと思っている割合
c		-	-		c	-	-		c	-	-

2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	箇所	-	4	4	4	4	4	「CLM」と個別の指導計画の実施保育所数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	%	57.6	-	-	-	-	70	将来玉城町に住みたいと思う割合(中学生)
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	人	403	-	345	-	-	146	転入超過数の減少を抑制
	b	%	55.6	-	-	-	-	67.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策 番号	II-3-3	施策の名称	玉城町の子どもによるPR戦略 【新規】	主担当課・者	総務政策課	永井 友樹	
	総合 計画			3-(1)-3-5	関係課	教育委員会	
					関係課		
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

玉城中学校の代表生徒で構成される「玉城ステキ向上委員会 ～玉城、ステキ発見！～」の結果(平成27年度)を踏まえ、玉城町の魅力パンフレット・ポスターの作成等、生徒が主体となった事業立案・実施につなげます。

また、「玉城ステキ向上委員会 ～玉城、ステキ発見！～」の継続開催により、子どもの視点による玉城町の魅力の再発掘・再整理やそれら魅力のPR方法の検討を行います。

【主な取り組み】

- ◆中学生による魅力PR事業の企画・展開
- ◆「玉城ステキ向上委員会 ～玉城、ステキ発見！～」の継続開催

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成30年度においては、下外城田地区の宮古・岩出地区において、地域模型作りワークショップおよびまち歩きワークショップを実施し地域の魅力についての話し合いを行った。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

小学生の意見を踏まえ、具体的なPR方法の確立が必要である。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

引き続き下外城田地区において、ワークショップを実施し、地域の活性化につなげる意見交換を実施する。
また、他の既存事業(三重テレビ旬感みえ、地方創生推進交付金事業)とのタイアップを検討。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成29年度:委託料1,080千円(三重テレビ番組制作放送)

平成30年度:委託料1,080千円(三重テレビ番組制作放送)

令和元年度:委託料1,080千円(三重テレビ番組制作放送), 地方創生推進交付金事業(PR事業)10,000千円

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	PR実施回数	a	%	将来玉城町に住みたいと思う割合(中学生)	a	人	転入超過数(転入者-転出者)
b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町に住み続けたいと思っている割合	
c	-	-	c	-	-	c	-	-	

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠	
中間KPI(ア)	a	回	-	0	0	1	0	1	PR実施回数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	%	57.6	-	-	-	-	70	将来玉城町に住みたいと思う割合(中学生)
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	人	403	-	345	-	-	146	転入超過数の減少を抑制
	b	%	55.6	-	-	-	-	67.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	Ⅲ-1-1	施策の名称	玉城町の地域資源を活用した出会い・結婚支援の充実【新規】	主担当課・者	教育委員会	平生公一	
	総合計画			3-(1)-3-3	関係課	産業振興課	
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
 関係団体や農家と連携し、収穫時期が異なる農作物の収穫等の体験活動を組み合わせながら、通年型・体験型の婚活イベントを企画し、開催します。また、近隣市町と連携した広域での出会い・結婚支援に向けた取り組みを行います。
 【主な取り組み】
 ◆婚活セミナー・婚活パーティーの実施
 ◆通年型・体験型婚活イベントの企画・実施
 ◆広域連携による結婚支援事業の展開

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

近隣3町が合同で企画し、平成30年度で3年目(1年目は2町合同)を迎える。各地域の特産品を使用した料理を堪能しながら、参加者が会話やゲームを楽しめる出会いの場を提供している。
 今後の事業の参考として、参加者の声を聞くとともに、参加者の今後の動向を知るためにアンケート調査を実施している。
 平成28年度:参加者33名、カップル成立8組
 平成29年度:参加者36名、カップル成立4組
 平成30年度:参加者37名、カップル成立4組

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

晩婚化・未婚化の解消に各種婚活イベントが乱立しているが、広域で開催することによって一定の参加者数が見込まれる。
 成立したカップルへ事後アンケートを実施したところ、本格的な付き合いへ発展しているカップルはいなかった。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

出会いの場を与えることと併せ、地域の魅力をPRしていくことで参加者に一層の興味を持ってもらう。
 イベント開催によるカップル成立だけでなく、成婚率を高めるため結婚サポート業者の協力を得て展開していく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
 近隣3町合同(予算額750,000円)で、継続して実施する。
 会場および内容を変えた企画で、年2回の開催を予定。

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
		a	回	婚活イベント開催回数	a	組	イベント等による成婚数	a	人	合計特殊出生率	
	b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思う割合		
	c	-	-	c	-	-	c	-	-		
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠		
中間KPI(ア)	a	回	-	1	2	1	1	1	婚活イベント開催回数(単年)		
	b	-	-	-	-	-	-	-	-		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
KPI(イ)	a	組	-	延べ1	延べ1	延べ1	延べ1	延べ5	イベント等による成婚数		
	b	-	-	-	-	-	-	-	-		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
数値目標(ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	1.67	数値を向上させる		
	b	%	65.6	-	-	-	-	80.0	数値を向上させる		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅲ-1-2	施策の名称	出産希望をもつ男女への支援(特定不 妊治療費等助成事業の推進) 【充実】	主担当課・者	保健福祉課	丸井咲穂
				関係課		
				関係課		
				関係課		
総合 計画	1-(1)-2-1					

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
特定不妊治療費用、一般不妊治療費用の一部助成を行い、経済的負担の軽減を図ります。また、それら助成制度の周知を図るとともに、不妊で悩む男女に対する相談支援の充実に努めます。なお、現在実施している助成制度に対して、対象者のニーズに応じた魅力的な助成制度になるように助成メニューの検討を行います。

【主な取り組み】
◆特定不妊治療費用、一般不妊治療費用一部助成
◆助成メニューの検討

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

- ・年度初めに、県内の特定不妊治療指定医療機関および伊勢市内産婦人科等へ受診者に配布していただくチラシを送付した。
- ・広報たまきにおいて、助成事業の概要を掲載した。
- ・特定不妊治療費助成上乘せ事業 15件
- ・一般不妊治療費助成事業 2件
- ・不育症治療費助成事業 0件
- ・第2子以降の特定不妊治療に係る助成回数追加事業 0件

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

・申請時に別室にご案内する等、プライバシーの配慮が必要。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

・医療機関から対象者へ周知してもらえよう、医療機関との連携を図る。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
・令和元年度
当初予算1,370千円

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	所得制限の緩和	a	人	制度利用者数	a	人	合計特殊出生率		
b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思う割合			
c	-	-	c	-	-	c	-	-			
2各指標の推移・目標値		単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠		
中間KPI (ア)	a	回	-	-	-	1回	継続	延べ1回	所得制限の緩和		
	b	-	-	-	-	-	-	-	-		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
KPI (イ)	a	人	13	13	9	12	12	15	制度利用者数(単年)		
	b	-	-	-	-	-	-	-	-		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
数値目標 (ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	1.67	数値を向上させる		
	b	%	65.6	-	-	-	-	80.0	数値を向上させる		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅲ-2-1	施策の名称	地域子育て支援センター事業の 機能強化 【既存】	主担当課・者	保健福祉課	上村 亜由子	
	総合 計画			1-(1)-1-1	関係課	教育委員会	
					関係課		
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
子育て中の親に対する不安、悩みについての電話相談および家庭訪問等を継続して実施するとともに、地域子育て支援センターの機能強化を図ります。
【主な取り組み】
◆親子で一緒に遊べる交流の場づくり
◆子育て講座および育児アドバイザーによる育児相談の実施
◆ノーバディーズ・パーフェクト(NP)

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成29年度から家庭教育応援モデル事業を県と連携して実施。保護者と関係の見える関係作りとして、家庭訪問を実施(ぶつくすたーと券未交換者訪問、転入者訪問など)したり、講座を実施したりすることで、保護者に家庭教育に関する啓発を行ってきた。家庭訪問を通して、子育て事業の紹介や、保育所についての話、NPへの誘いかけなどができ、その後の関係づくりにつながることができている。講座については、子育てに関する悩みについての話など保護者の方々が聞きたいお話を聞くことができ、どの講座もとても好評で、平成30年度は、4保育所の親子の集いの機会を活用し、3歳児の保護者向けに助産師の話を聞いてもらう機会を持った。親子参加の講座(バレトン)がきっかけで、参加してくれた保護者がインストラクター養成講座を受けるところまでつながっている。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

家庭教育を支援する人材育成については、平成29年度は台風被害の影響もあり実施できなかったが、平成30年度は実施。受講者にはとても好評な内容であったので、令和元年度は参加者をどのように増やしていくかが課題である。参加者を増やし、今、減少している子育てサポーター(NP等の託児をしていただく方)を増やしていく予定。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

・子育て支援拠点事業への参加者数の減少については、赤ちゃん訪問、7か月児相談など顔の見えるかかわりを大切に、講座や「にこにこ」への参加を促していく。玉城町に2か所ある児童館で、月2回ずつ「あそびのひろば」を開催したり、NPのグループが子どもと共に集う場として活用されてきているので、今後もPRしていく。
・家庭教育支援推進事業については、「いのちの授業」などで小中学校での講座の開催を検討中。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
家庭教育支援推進事業 平成29年度 140,659円
平成30年度 307,319円
令和元年度 497,743円(予算)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)	
	a	件	子育て支援拠点事業実施件数	a	人	子育て支援拠点事業への参加者数	a	人	合計特殊出生率			
	b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思う割合			
	c	-	-	c	-	-	c	-	-			
2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠				
中間KPI(ア)	a	件	-	6	6	6	6	6	子育て支援拠点事業実施件数			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
KPI(イ)	a	人	2,913	2,237	2,035	1,903	1,720	2,950	子育て支援拠点事業への参加者数			
	b	-	-	-	-	-	-	-	-			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			
数値目標(ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	1.67	数値を向上させる			
	b	%	65.6	-	-	-	-	80.0	数値を向上させる			
	c	-	-	-	-	-	-	-	-			

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	Ⅲ-2-2	施策の名称	妊娠・出産から子育てまで一貫した支援の充実【充実】	主担当課・者	保健福祉課	奥野 彩子
総合計画	1-(1)-2-1			関係課		
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
総合的な母子保健対策を推進するとともに、妊娠期から乳幼児期までのつながりのある支援を実施するために、子育て総合支援室等の関係機関の連携を強化します。
また、それら一貫したつながりのある支援を実施する仕組みや拠点づくりとして、「玉城版ネウボラ」の実施に向けた検討を行います。
【主な取り組み】
◆関係機関との子育てネットワークの構築
◆「玉城版ネウボラ」の検討・実施

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

・平成29年度から玉城町版ネウボラを実施している。マイ保健師制(地区担当制)を実施し、広報や妊娠届出時にマイ保健師について説明してきた。少しづつ定着し、保健師も担当の児について継続的に関わることで保護者との関係も作りやすくなった。
・転入家庭については、1歳未満については保健師が訪問し、1歳以上で未入園の児については子育てスタッフが訪問し、状況把握している。
・年に1回、小中学校の養護教諭と情報交換の場を設定し、思春期教育について話す機会を持った。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

・保健師の業務の異動もあり、マイ保健師が変更することもあるので、周知の仕方等考えていかないといけない。
・年度ごとに事業評価をし、次年度の計画に反映していく。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

・平成29年度からの3年計画のため、令和元年度には次期の計画を立案していく。
・今後も小中学校の養護の先生と連携をとりながら「思春期ネウボラ」について情報交換していく。
・転入者への支援は子育てスタッフと連携をとりながら全数訪問(未入園児)していく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
平成29年度:講師報償費30,000×2回=60,000円
講師旅費13,014×2回=26,028円

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	検討会開催回数	a	%	子育てを楽しんでいる人の割合	a	人	合計特殊出生率		
b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思う割合			
c	-	-	c	-	-	c	-	-			

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠	
中間KPI(ア)	a	回	-	10	11	5	2	3	検討会開催回数(単年)
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	%	81	-	-	-	-	85	子育てを楽しんでいる人の割合
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	1.67	数値を向上させる
	b	%	65.6	-	-	-	-	80.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅲ-2-3	施策の名称	健やか母性交流事業 【新規】	主担当課・者	保健福祉課	丸井咲穂	
	総合 計画			1-(1)-2-1 P13	関係課		
				2-(1)-1-2 P34	関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

子育て世代だけでなく全世代の女性が輝き、健やかに母性が発揮できるように、乳がん・子宮がん検診等の受診勧奨を行うとともに、地域の各年代層の女性が抱える妊娠・出産期等の不安や支援ニーズを把握し、妊娠・出産から子育てまでつながりのある支援の展開につなげます。

【主な取り組み】

- ◆ 広報やイベント開催等による乳がん・子宮がん検診等受診の啓発
- ◆ 各年代層の女性に対するアンケートの実施および結果の分析による現状事業の整理・評価
- ◆ 妊婦健診の助成、母親父親学級の実施、相談窓口の整備
- ◆ 中学校での性や命の授業や講演、パンフレット配布

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

- ・ 町内各保育所の行事の場(年長児の親子のつどい)において、乳がんに関心をもち健康教育を実施した。年度初めに購入した乳房触診モデルやリーフレットを活用し、乳がんのセルフチェックの方法等を啓発した。また、合わせて健康・子育てマイレージの啓発も行った。
- ・ 平成29年度の乳がん検診受診率は32.9%(県内1位)、子宮がん検診受診率は32.8%(県内2位)となった。
- ・ 検診受診希望調査によって、検診受診の個別勧奨、申込みを実施。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

- ・ 検診受診の個別勧奨にあたり、同封のチラシを見やすくする工夫が必要。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

- ・ 若年層の女性に焦点を当てた啓発を継続していく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
令和元年度

- ・ 乳がん検診(当初予算6,585千円)
- ・ 子宮がん検診(当初予算5,142千円)
- ・ 検診受診希望調査(当初予算782千円)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
		a	回	検診希望調査	a	%	安心して産み育てられると感じる人の割合	a	人	合計特殊出生率	
	b	-	-	b	%	乳がん検診等の受診率	b	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思う割合		
	c	-	-	c	%	子宮がん検診等の受診率	c	-	-		
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠		
中間KPI(ア)	a	回	-	1	1	1	1	1	継続実施		
	b	-	-	-	-	-	-	-	-		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
KPI(イ)	a	%	38.6	36.9	実施なし	-	-	40	数値を向上させる		
	b	%	39.0	14.5	31.7	32.9	R2.3公表予定	80	H27より受診率の算出式変更あり		
	c	%	75.9	27.5	29.8	32.8	R2.3公表予定	80	H27より受診率の算出式変更あり		
数値目標(ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	1.67	数値を向上させる		
	b	%	65.6	-	-	-	-	80.0	数値を向上させる		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	Ⅲ-2-4	施策の名称	認定こども園の設置 【既存】	主担当課・者	保健福祉課	上村 和弘
総合計画	1-(1)-1-3 P11			関係課		
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
小学校就学前の子どもに教育・保育を一体的に提供する機能と、地域における子育て支援として相談活動等の機能をあわせ持つ認定こども園を設置します。
【主な取り組み】
◆「認定こども園推進事業」の実施

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成28年4月1日定員10名で下外城田保育所に保育所型認定こども園設置。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に相当程度効果があった

事業完了。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

予定通り事業終了

定員10名規模で継続。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成28年度:継続
平成29年度:継続
平成30年度:継続
令和元年度:継続

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	-	-	-	a	園	認定こども園数	a	人	合計特殊出生率	
b	-	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思う割合		
c	-	-	-	c	-	-	c	-	-		

2各指標の推移・目標値	単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠	
中間KPI (ア)	a	-	-	-	-	-	-	-	
	b	-	-	-	-	-	-	-	
	c	-	-	-	-	-	-	-	
KPI (イ)	a	園	-	延べ1	延べ1	延べ1	延べ1	認定こども園数	
	b	-	-	-	-	-	-	-	
	c	-	-	-	-	-	-	-	
数値目標 (ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	1.67	数値を向上させる
	b	%	65.6	-	-	-	-	80.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅲ-2-5	施策の名称	病児保育制度の実施 【充実】	主担当課・者	保健福祉課	上村 和弘	
	総合 計画			1-(1)-3	関係課		
					関係課		
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
町内の医療機関の連携のもと病児・病後児保育の実施を検討します。
【主な取り組み】
◆「病児保育事業」の拡充

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

子ども・子育て支援事業計画に基づき篠塚小児科との連携の元、平成29年度より保育所に現在入所している児童を対象に下外城田保育所で受入を開始した。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

伊勢市へ委託しているエンジェルとの選択肢を増やすことで子育て支援の一部となっていると考えるが、現状疾病の発生状況等により利用者が減っており目標数値となる548人が数値比較の上で乖離している。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

令和元年度が現行の子ども子育て支援事業計画の最終年であるため、過去の実績等鑑みて事業の利用対象範囲を検討する。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	制度の周知	a	人	病児保育制度の年間利用者数(延べ人数)	a	人	合計特殊出生率		
b	箇所	設置箇所	b	-	-	b	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思う割合			
c	-	-	c	-	-	c	-	-			
2各指標の推移・目標値		単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠		
中間KPI (ア)	a	回	-	-	1	1	1	1	制度の周知		
	b	箇所	委託1	委託1	委託1	委託1・直営1	委託1・直営1	委託1・直営1	設置箇所		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
KPI (イ)	a	人	37	24	46	13	16	548	病児保育制度の年間利用者数(延べ人数)		
	b	-	-	-	-	-	-	-	-		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
数値目標 (ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	1.67	数値を向上させる		
	b	%	65.6	-	-	-	-	80.0	数値を向上させる		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策 番号	Ⅲ-3-1	施策の名称	働くパパ・ママ応援プロジェクト 【充実】	主担当課・者	保健福祉課	上村 和弘	
	総合 計画			1-(1)-1-3	関係課		
					関係課		
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

子育て世帯への支援を強化するため、国の多子世帯支援制度の動向を踏まえながら、多子年齢に限らない第3子以降の保育料の無料化や第2子の保育料半額等の支援を拡充し、小学校入学までの経済的負担をさらに軽減します。また、働きながら子育てできる支援策の強化として、町内の企業において単独型・共同型の企業内保育所の設置に向けたニーズ調査や補助制度の導入に努めます。

【主な取り組み】

- ◆第3子保育料無料化、第2子保育料半額支援制度の導入検討
- ◆企業内保育所設置に向けた検討

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

- ・第3子保育料無料化、第2子保育料半額支援について国の制度改正に合わせ実施済み。
- ・放課後児童クラブ利用料の一人親家庭等の減額を平成29年度から実施。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

企業内保育も県内事業所等に散見されるが、町内企業への状況が把握できていない。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

現在、待機児童が0人であり、必要に応じ広域保育利用を優先している。企業内保育については本年度10月から施行される保育料無償化において、その対象となりうるが、基準に達していない認可外保育所等への対応等もあり、今後状況の把握に努めたい。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成28年度: -

平成29年度: -

平成30年度: -

令和元年度: 幼児教育・保育無償化事業 9,297千円(手当等802千円、需用費等74千円、委託費8,382千円、備品購入費39千円)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	件	支援制度導入件数	a	人	保育所待機児童数	a	人	合計特殊出生率		
b	-	-	b	%	子どもがいても安心して働けると感じている人の割合	b	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思う割合			
c	-	-	c	-	-	c	-	-			

2各指標の推移・目標値	単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠
中間KPI (ア)	a	件	-	0	延べ1	延べ1	延べ1	支援制度導入件数
	b	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-
KPI (イ)	a	人	0	0	0	0	0	保育所待機児童数
	b	%	38.6	-	-	-	40	子どもがいても安心して働けると感じている人の割合
	c	-	-	-	-	-	-	-
数値目標 (ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	数値を向上させる
	b	%	65.6	-	-	-	80.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	Ⅲ-3-2	施策の名称	育休中の女性等の職場復帰、キャリアアップ支援【新規】	主担当課・者	総務政策課	永井 友樹
総合計画	1-(3)-4-2			関係課		
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
育休後の女性や子育てを理由に離職し今後働く意向がある女性の円滑な職場復帰や再就職に向けて、民間企業等と連携してビジネス研修やキャリアアップ研修を行います。また、それら女性の社会復帰に向けた職場の環境づくりや男女共同参画の推進に向けて、町内・近隣市町の企業・事業所に対して、男性従業員や管理職を対象とした男性の育児参加やワーク・ライフ・バランスの実践に向けた啓発・学習機会を設けます。

【主な取り組み】
◆育休中の女性に対するビジネス研修・キャリアアップ研修の実施
◆イクメン・イクボス講座の開催

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成30年度は一般財団法人女性労働協会の女性就業支援全国展開事業を活用し、対象を再就職を希望する育児中の女性に「女性のための再就職講座」を開催し、4名の参加があった。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

セミナー等の開催時の託児の設置や子育て支援室との連携など参加者確保のための方策が必要である。
また、参加者対象者の選定についても検討を行う必要がある。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

令和元年度は地域女性活躍推進交付金や、厚生労働省の全国女性就業支援事業を活用したセミナーの開催を検討する。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
平成29年度:-
平成30年度:-
令和元年度:-

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	啓発回数	a	回	ビジネス研修・キャリアアップ研修プログラム開催回数	a	人	合計特殊出生率		
b	-	-	b	-	-	%	玉城町が子育てする場として魅力的だと思える割合				
c	-	-	c	-	-	-	-				

2各指標の推移・目標値	単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	回	-	0	0	0	1	啓発回数
	b	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	回	-	0	0	0	1	ビジネス研修・キャリアアップ研修プログラム開催回数
	b	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	人	1.56	1.75	1.64	1.41	1.76	数値を向上させる
	b	%	65.6	-	-	-	80.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

--	--

施策番号	IV-1-1	施策の名称	地域おこし協力隊の受入による、まちづくりの活性化【新規】	主担当課・者	総務政策課	永井 友樹	
	総合計画			3-(1)-3-5	関係課	産業振興課	
					関係課	保健福祉課	
					関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
本町において、特に外部人材を活用した取り組みが必要な分野(保健・福祉、まちのPR、誘客・交流人口の増加等)に対する専門知識・ノウハウを有した人材を確保し、外部人材を活用した地方創生に関する取り組みを進めます。また、本町の起業支援策と連携を図り、地域おこし協力隊の任期後のビジネス創出支援につなげるとともに、定住希望に対する支援を行います。

【主な取り組み】

- ◆保健・福祉分野における地域おこし協力隊の受入
- ◆まちの魅力プロモーションにおける地域おこし協力隊の受入
- ◆コミュニティ拠点、情報発信拠点での各種事業運営における地域おこし協力隊の受入

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成30年度は産業振興課において、イチゴ分野にて1名協力隊を採用(H31.2月から)し、SNS等で日々の活動や町の魅力をPRしている。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果があった

町の求める人材と応募者のマッチングが大切である。また、受入れ体制の充実を図る必要がある。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

令和元年度も引き続き募集を行う。募集時期と応募者のタイミングでマッチングが左右されるため粘り強く募集を行っていく。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成29年度:協力隊 2,242千円(実績)

平成30年度:協力隊 1,425千円(実績)

令和元年度:協力隊 6,280千円(当初)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	人	地域おこし協力隊の受入人数	a	人	地域おこし協力隊の受入人数	a	事業	広域連携による誘客・交流推進事業数
	b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が好きだ(自慢できる)と思う割合
	c	-	-	c	-	-	c	-	-
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	人	-	0	0	1	1	3	地域おこし協力隊の受入人数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	人	-	0	0	1	1	3	地域おこし協力隊の受入人数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	事業	0	1	1	1	1	2	2事業実施する
	b	%	70.0	-	-	-	-	85.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	IV-2-1	施策の名称	高齢者のマンパワーとICTを活かした保健・福祉力の向上 【新規】	主担当課・者	総務政策課	永井 友樹	
	総合計画			2-(2)-2-2	関係課	保健福祉課	
				関係課			

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

きずなビックデータを活用し、住民の保健・福祉ニーズや課題を把握するとともに、増加する高齢者のマンパワーを活用し、保健・福祉分野の支援者として育成および事業展開を行います。
なお、これら取り組みについては、地域おこし協力隊制度等を利用し、専門的なノウハウをもつ人材の確保・活用により進めます。

【主な取り組み】

- ◆保健・福祉分野における地域おこし協力隊の受入および活用
(地域おこし協力隊による活動イメージ)
- ◇ICTを活用した保健・福祉課題・ニーズの把握と分析
- ◇高齢者のマンパワーを活用した仕組みづくりの検討
- ◇モデル事業の展開
- ◆保健・福祉分野に係る担い手の育成・事業検討

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成30年度は厚生労働省の生涯現役促進連携事業(10/10補助, 3ヵ年継続)の採択を受け平成30年10月1日に玉城町生涯現役促進協議会を発足。計画していた事業目標についても概ね達成することができた。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

2年目となる今年度はいかに事業を拡大していくか、目標を達成するかが課題である。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

引き続き玉城町生涯現役促進協議会において、高齢者の雇用や生きがいづくりの支援を行う。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成29年度:

平成30年度:生涯現役促進連携事業(協議会が予算をもつ)

令和元年度:生涯現役促進連携事業(協議会が予算をもつ)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)			整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	人	生活支援サポーター登録者数	a	%	要介護認定者の出現率	a	事業	広域連携による誘客・交流推進事業数	
	b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が好きだ(自慢できる)と思う割合	
	c	-	-	c	-	-	c	-	-	
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠	
中間KPI(ア)	a	人	-	27	27	27	27	40	生活支援サポーター登録者数	
	b	-	-	-	-	-	-	-	-	
	c	-	-	-	-	-	-	-	-	
KPI(イ)	a	%	16.1	15.7	15.8	16.2	16.8	18.0以内	要介護認定者の出現率	
	b	-	-	-	-	-	-	-	-	
	c	-	-	-	-	-	-	-	-	
数値目標(ウ)	a	事業	0	1	1	1	1	2	2事業実施する	
	b	%	70.0	-	-	-	-	85.0	数値を向上させる	
	c	-	-	-	-	-	-	-	-	

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	IV-2-2	施策の名称	保健分野の人材確保と保健指導の強化 および多様な福祉支援の充実 【新規】	主担当課・者	総務政策課	永井 友樹
総合計画	1-(1)-1-4 P11			関係課	保健福祉課	
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

保健師・看護師資格を持つひとり親の移住・就労支援やそれら資格取得をめざすひとり親への支援を行い、保健分野の人材確保を促進します。就業支援に向けては、ひとり親の就労先となる地域運営組織の誘致や設立を支援し、継続的な保健分野の人材確保、地域に対する保健指導の充実、ひとり親を対象とした資格取得への支援等の事業展開につなげます。なお、それら組織が事業展開する保健指導等の業務については、ICTによりデータ連携している周辺7市町や地域の企業と連携することで、幅広い需要を獲得することをめざします。また、保健指導等の保健分野の事業展開にとどまらず、多様化する福祉ニーズに対応する支援サービスの提供等の新たなビジネスモデルの検討により、地域運営組織のさらなる事業発展をめざします。

【主な取り組み】

- ◆ひとり親に対する玉城町PRツアー・イベント開催
- ◆ひとり親による保健指導ビジネスの立ち上げ支援(就労先となる地域運営組織の立ち上げ等)
- ◆ICTを活用したプッシュ型の保健指導への支援
- ◆多様な福祉課題に対応するサービス・支援メニューの開発支援

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

平成30年度は地方創生推進交付金事業においてひとり親の就労の受け皿となり得る地域運営組織における収益力の強化方策や全体事業の事業主体の選定を行った。結果、令和元年度に建設される集客交流施設の運営事業者が決定した。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

ひとり親の就業先である受け皿の整備や移住に対する支援策を検討していく必要がある。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

集客交流施設の建設・運営に合わせて、ひとり親の就労等マッチングに繋げる方法を検討する。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成29年度:推進交付金事業(玄甲舎利活用方策調査研究業務 2,700千円 地域運営組織事業計画策定支援業務 9,720千円)

平成30年度:推進交付金事業(事業主体選定事業 4,320千円 収益力強化事業 7,560千円)

令和元年度:推進交付金事業(集客交流施設新築工事 30,195千円)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	回	ビジネスマッチング やビジネスコンテスト 等のイベント実施件 数	a	組織	地域運営組織数	a	事業	広域連携による誘客・交流 推進事業数		
b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が好きた(自慢で きる)と思う割合			
c	-	-	c	-	-	c	-	-			

2各指標の推移・目標値	単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠
中間KPI (ア)	a 回	-	0	3	0	2	2	実施回数
	b -	-	-	-	-	-	-	-
	c -	-	-	-	-	-	-	-
KPI (イ)	a 組織	-	0	延べ1	延べ1	延べ1	延べ1	地域運営組織数
	b -	-	-	-	-	-	-	-
	c -	-	-	-	-	-	-	-
数値目標 (ウ)	a 事業	0	1	1	1	1	2	2事業実施する 数値を向上させる
	b %	70.0	-	-	-	-	85.0	-
	c -	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	IV-2-3	施策の名称	町民の健康寿命の延伸、地域コミュニティ・地域活動の拠点づくり【新規】	主担当課・者	保健福祉課	西野珠代
総合計画	2-(1)-1-1			関係課		
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

町民の健康寿命の延伸や新たなコミュニティ・地域活動の活性化に向けた拠点機能を整理するとともに、地域住民の交流や学習機会等を提供できるメニューの開発等についても検討していきます。

【主な取り組み】

- ◆ 総合体育館等の施設機能の検討およびそれと連動した拠点づくり
- ◆ 健康づくり・介護予防事業の展開
- ◆ 地域住民との交流会・学習機会の提供
- ◆ 元気づくりシステムの導入

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

元気づくりコーディネーター保健師4名で、4月から4地区、10月から5地区計9地区で集会所コースを実施。集会所コース終了後は、自主的な運営で

全地区で元気リーダーコースに移行でき、平成30年度末においてあわせて30地区(26ヶ所)となった。

平成29年度より元気づくり大学のキャンパス化を行い、研修生の受け入れも行った。

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

集会所コースでは、どの地区も10~20名/回程度の参加がある。リーダーコースに移行後も定期的な介入をして実施をすすめていくが、介入にいくマンパワーが不足している。

今後も実施地区を拡大をしていくために、令和元年度は、元気づくりコーディネーターの養成が必要。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

今後も集会所コースをひろげ、元気リーダーコースにささやかな介入を実施していく。

令和元年度は、保健師1名元気づくりコーディネーター養成研修を受講。

元気づくり大学のキャンパス化を継続する。(自治体向け)

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

令和元年度は、保健師1名元気づくりコーディネーター養成研修を受講。(コーディネーター養成委託料 616千円)

元気づくり大学のキャンパス化を継続する。(元気づくりシステム使用許諾料 897千円)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	箇所	元気づくりシステム 集会所コース・元気 リーダーコース	a	箇所	新規拠点設置数	a	事業	広域連携による誘客・交流 推進事業数
	b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が好きだ(自慢できる)と思う割合
	c	-	-	c	-	-	c	-	-
2各指標の推移・目標値		単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠
中間KPI (ア)	a	箇所	-	-	延べ10	延べ18	延べ26	延べ48	H28年以降年間12箇所増やす
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI (イ)	a	箇所	-	-	10	8	9	9	新規拠点設置数(単年)
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標 (ウ)	a	事業	0	1	1	1		2	2事業実施する
	b	%	70.0	-	-	-	-	85.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	IV-2-4	施策の名称	住民や支援を必要とする人が気軽に集え、助け合える場づくり【新規】	主担当課・者	保健福祉課	西、中森
	総合計画			2-(2)-2-3 P42	関係課	産業振興課
				関係課		

(1) 玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】

認知症の人やその家族、高齢者、障がい者、子ども等、誰もが気軽に集い、くつろげる空間づくりに向けて、空き家を活用した拠点整備を行います。

また、それら拠点づくりの拡大に向けて、NPO等の運営主体の立ち上げ支援を行うほか、遊休地を活用した農作業等の活動提供を行います。

【主な取り組み】

- ◆住民全体の通える場づくりのプロジェクトチームの立ち上げ
- ◆居場所の開設と利用者の発掘
- ◆遊休地の活用と農作業等の活動提供

(2) 施策の進捗状況<Do:実績・成果>

地域共生室(当時:地域包括支援室)主催の地域ケア会議から誕生した、民生委員や町内福祉施設従事者、認知症サポーターさくらが中心となったプロジェクトチームが立ち上がり、地域で空き家となった家を活用し、「たまきのつどい場・協(かなう)」が2015(H27)年10月に開所した。また、「協」立ち上げ後、プロジェクトチームはあたらな居場所を創出していく「居場所部会」として活動をし、第2の居場所として、健康マージャンを活用した「ロン」を2018(H30)年1月に開所した。「ロン」は障がい者就労施設を借用し、高齢者だけでなく、障がい者の社会参加を促し交流が深まっている。

H30年度は、「協」の運営と「ロン」の運営支援、そして新しい居場所の創出について、生活支援コーディネーター事業の一部として民間事業者へ委託している。

そして、「清し有田佐田沖環境保全会」が実施する保育所・小学校との交流事業「とうもろこしの苗植え・収穫」「マリーゴールドの里親」では、高齢者・障がい福祉施設も参加している。

【「協」実績】開催回数:113回、延べ利用者数:2,812人／【「ロン」実績】開催回数:43回、延べ利用者数:1,103人

(3) 施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に非常に効果があった

生活支援コーディネーター事業の一部として「協」の運営は安定しており、利用者の声にこたえ、H30年度は火・木曜日以外に土曜日も月に何度か開所している。

「ロン」については、運営方法やルール設定に住民が中心となって「運営委員会」を発足し、会場である障がい者施設と生活支援コーディネーター、地域共生室がバックアップする形で検討を続けている。

また、新しく「カロム」を活用した居場所の創出や自主運営者の支援を検討している。

(4) 今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

新たな居場所の創設。

現在の居場所の適切な運営。

居場所を核とした、水平(福祉・産業・農業・生活等)・垂直(乳幼児～高齢者)のつながりの拡大。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて

平成28年度:300千円(家賃補助)

平成29年度:生活支援コーディネーター事業(介護・地域支援事業)の一部として委託 委託費全体 4,100千円(うち関係経費820千円程度)

平成30年度:生活支援コーディネーター事業(介護・地域支援事業)の一部として委託 委託費全体 5,832千円(うち関係経費1,766千円程度)

令和元年度:生活支援コーディネーター事業(介護・地域支援事業)の一部として委託 委託費全体 5,832千円(うち関係経費1,900千円程度)

(5) 施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		整理No.	単位	KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	箇所	居場所開設数		a	箇所	居場所拠点整備		a	事業	広域連携による誘客・交流推進事業数
	b	人	居場所年間利用者数(延)		b	人	居場所年間利用者数(前年比)		b	%	玉城町が好きだ(自慢できる)と思う割合
	c	-	-		c	-	-		c	-	-
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠		
中間KPI(ア)	a	箇所	-	1	1	2	2	1	居場所開設数		
	b	人	-	750	1950	2800	3900	300	居場所利用者数		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
KPI(イ)	a	箇所	-	1	1	1	1	1	居場所拠点整備		
	b	人	-	750	1200	850	1100	300	利用者数の増加		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		
数値目標(ウ)	a	事業	0	1	1	1	1	2	2事業実施する		
	b	%	70.0	-	-	-	-	85.0	数値を向上させる		
	c	-	-	-	-	-	-	-	-		

(6) 外部検証結果

事業の評価

施策番号	IV-3-1	施策の名称	コミュニティ拠点、情報発信拠点の整備・充実 【充実】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広
総合計画	3-(1)-3-2			関係課		
				関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
「アスピーア玉城」や「地域観光案内・地場産品販売処 城(ぐすく)」を拠点として、まちの魅力発信と地域の特産品の販売・情報発信機能を充実します。
【主な取り組み】
◆「アスピーア玉城」や「地域観光案内・地場産品販売処 城(ぐすく)」の機能強化
◆地域おこし協力隊を活用した事業展開

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

観光協会への移行準備を進めていたが、人材不足等により設立にいたらなかった。
地域おこし協力隊の応募がなかったため事業展開できなかった。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

「アスピーア玉城」「地域観光案内・地場産品販売処 城(ぐすく)」施設老朽化。
地域資源・観光資源の見直し。
観光まちづくり協会の体制づくり。
人材確保。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

田丸駅及び田丸城跡周辺での観光案内及び情報発信の拠点を整備検討。
地域おこし協力隊、商工会等連携した組織の立上。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
旧沢田薬局前建物を観光案内及び情報発信の組織及び拠点を整備検討。

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	人	「地域観光案内・地場産品販売処城(ぐすく)」利用者数	a	人	「地域観光案内・地場産品販売処城(ぐすく)」利用者数	a	事業	広域連携による誘客・交流推進事業数
	b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が好きだ(自慢できる)と思う割合
	c	-	-	c	-	-	c	-	-
2各指標の推移・目標値		単位	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)	H31(目標)	目標値設定の根拠
中間KPI(ア)	a	人	-	21,358	39,408	22,619	17,116	18,000	城(ぐすく)利用者数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI(イ)	a	人	17,400	21,358	39,408	22,619	17,116	18,000	城(ぐすく)利用者数
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標(ウ)	a	事業	0	1	1	1	1	2	2事業実施する
	b	%	70.0	-	-	-	-	85.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6)外部検証結果

事業の評価

施策 番号	IV-3-2	施策の名称	シティプロモーションの展開 【充実】	主担当課・者	産業振興課	中野 雄広	
	総合 計画			3-(1)-3-5P71	関係課		
					関係課		

(1)玉城町総合戦略における施策内容<Plan:計画>

【施策内容】
玉城の魅力を県外でセミナーや映像を活用し発信することで、誘客促進につなげます。また、流行を意識した新キャラクターの製作等、誘客につながるPR商品等の開発に努めます。
さらに、近隣市町と連携しながら、それぞれの地域資源を活かした魅力を体験できる周遊コースの設定や県・関係市町、関係機関・団体等と協力した物産展等のPRイベントの実施に努めます。
【主な取り組み】
◆誘客につながるPR商品の開発
◆県外での玉城町PRイベントの開催
◆地域資源を活かして玉城町を体験できるコースの設定
◆近隣市町と連携した周遊コースの設定

(2)施策の進捗状況<Do:実績・成果>

ふるさと納税者を対象に元気バスの観光用終バスとしての利用の実証実験中。
お城EXPO(田丸城跡のPRイベント)への出展。
ゆるキャラ「たままるくん」を活用し、県内外のイベントに参加し玉城町のPRを実施。
サニーロードを通じた3町(玉城町、度会町、南伊勢町)で観光誘客促進の取組を実施。

(3)施策の課題<Check:評価・検証>

取り組みの成果

地方創生に効果がなかった

歴史遺産、農業など、地域資源・観光資源の体系づくりが必要であり、そのためには観光業に携わる方々の意見と、それをまとめ上げ、観光協会の体制づくりに持って行ける関係者の機運の盛り上がりが必要。
総務政策課事業とのバッティング 役割分担の明確化。

(4)今後の方向性<Action:見直し・改善>

今後の方向性

事業の継続

観光だけでなく町の案内等の機能をもたせ、町内組織等のまとめ役となるよう組織設立準備を進める。

(具体的な事業内容)※予算規模も含めて
総務政策課と連携調整を行っていく。

(5)施策の指標

1各指標の内容	整理No.	単位	中間KPI(ア)		KPI(イ)		整理No.	単位	数値目標(ウ)
	a	人	観光レクリエーション 入込客数	a	人	観光レクリエーション 入込客数	a	事業	広域連携による誘客・交流推進事業数
b	-	-	b	-	-	b	%	玉城町が好きだ(自慢できる)と思う割合	
c	-	-	c	-	-	c	-	-	

2各指標の推移・目標値	単位	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	H31 (目標)	目標値設定の根拠	
中間KPI (ア)	a	人	351,850	393,295	373,527	315,454	298,647	383,000	増加させる
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
KPI (イ)	a	人	351,850	393,295	373,527	315,454	298,647	383,000	増加させる
	b	-	-	-	-	-	-	-	-
	c	-	-	-	-	-	-	-	-
数値目標 (ウ)	a	事業	0	1	1	1	1	2	2事業実施する
	b	%	70.0	-	-	-	-	85.0	数値を向上させる
	c	-	-	-	-	-	-	-	-

(6)外部検証結果

事業の評価